



平成30年度

# 教育研究所だより

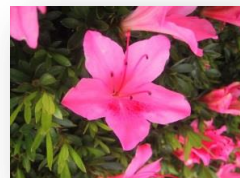
平成30年5月11日発行

No.2

〒987-0511 登米市迫町佐沼字袋向150-1

TEL 0220-22-8029 (相談専用22-8125) FAX 22-9114

HPアドレス <http://www.tomei-avc.jp/rese/>



〈ツツジ? サツキ?〉

これからの季節、朝起きるとあたりの視界が悪くなっていることがあります。これって「霧(きり)」「靄(もや)」のどちら? 霧も靄も、空気中の細かい水滴が漂っている状態です。1km先が見えないほどであれば「霧」、1km以上先が見えれば「靄」というそうです。どちらにしても、こういうときの車の運転は十分に注意しなければいけませんね。農道を走るときは特に気をつけましょう。突然、目の前に人や対向車が現れることがありますから。

## 第1回運営委員会



4月24日(火)に本年度第1回運営委員会が開催されました。運営委員の方々には、お忙しい中ご出席いただき、心より感謝申し上げます。

### 〈委嘱状の交付〉

平成30年度運営委員の委員長には、佐沼小学校の高橋正則校長先生が選出されました。また、副委員長には、南方幼稚園の千葉敦子園長先生、米山公民館の大瀧敬館長さんに決まりました。

委嘱状交付、佐藤教育長の挨拶、自己紹介、委員の選出に続き、平成30年度の教育研究所研究員についての報告を行いました。(研究員についてはNo.1でお知らせした方々です)

協議では、平成30年度の運営計画・事業計画の説明を教育研究所から行いました。

方針、重点目標等は教育研究所のHPに掲載されていますので、そちらをご覧ください。

協議の中で、「協働教育(コミュニティ・スクール)研修会」の募集範囲についての質問がありました。登米地域事務所がなくなったことにより、募集を登米だけにするのか、石巻地区も含めるのかという内容でした。

この件については、東部教育事務所の担当の先生と今後、どのようにするのかを検討することにしました。

このほか、遠藤学校教育課長より予算関係について説明していただきました。

この1年間、教育研究所の役割をしっかりと果たしていけるよう、所員一同、頑張っていきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。



〈運営委員会の様子〉

## 教育研究所研究員等研修会

5月2日(水)教育研究所研究員等研修会が行われました。

委嘱状交付のあと、佐藤教育長から「平成30年度登米市の教育課題について」と題してのお話をいただきました。



〈研修会の様子〉

### 【佐藤教育長の講話の概要】

#### ◎学校教育の課題

- 確かな学力の向上と豊かな社会性の育成
  - ・業務改善加速事業
- 学校と家庭・地域が連携した、地域とともにある学校づくりの推進
  - ・コミュニティ・スクール導入促進
- 認定こども園化に伴う幼稚園再編計画
- 少子化、学校小規模化に伴う学校再編計画
- ICT教育の充実
  - ・パソコンのタブレット化と効果的な活用推進
- 登米市産材利用の机・椅子の更新

#### ◎社会教育の課題

- 心豊かな生活に向けた生涯学習の充実
  - ・市立図書館建設計画
- 地域に密着したスポーツ活動の推進
  - ・パークゴルフ場の整備計画
  - ・長沼ボート場クラブハウス整備計画
  - ・陸上競技場整備計画
  - ・若者交流活性化会議の推進
- 文化の息づくまちの創造
  - ・新登米懐古館整備計画



研修会のあとは各研究部ごとに今年度の研究の進め方などについて話し合いがもたれました。

### 【参加者の感想】

- 昨年度の他の校種での取組を実践したいと考えていたので、今年度、その取組をまとめてみたい。
- 登米市が抱えている多くの課題や我々教員に求められていること、そして、この研究員として取り組んでいくことが分かった。
- 教育長先生の話がとても分かりやすく、今のままではなく、変えていかなければいけないという気持ちになった。
- 研究員として成果物を残すことを目的にするのではなく、しっかり広められるように1年間がんばりたい。
- 子どもたちの成長のため、情熱をもって取り組んでいきたい。

